



ファール

Fala

第4次山形市男女共同参画計画

いきいき山形男女共同参画プランを策定しました!


P2 ▶ P4

P5 まち、わたし、きらめく
Women's Campus 山形スタート

P6 ファール開催講座
(令和3年度・4年度)のご紹介

P8 Information
「女性に対する暴力をなくす運動週間」
について



 「ファール」は、山形市男女共同参画センターの愛称です。
「ファール」Falaとは、Female(女性)とala(翼)を組み合わせた造語です。

「男女共同参画のまち山形」の実現を目指して

～ 「いきいき山形男女共同参画プラン」 が新しくなりました～

山形市では、男女共同参画推進条例に基づき、誰もがいきいきと生活できる「男女共同参画のまち山形」の実現に向けて市が取り組むべき施策を総合的に定めた第4次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」を策定しました。その概要をお知らせします。



男女共同参画社会の実現は、我が国社会を決定する最重要課題と位置づけられています。今回策定した「第4次男女共同参画計画『いきいき山形男女共同参画プラン』」は、山形市男女共同参画推進条例第9条に基づき、男女共同参画社会の形成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画です。

計画の目的	「男女共同参画のまち山形」の実現
計画期間	令和4年度から令和8年度まで
基本理念	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権の尊重 2 多様な生き方の選択の自由 3 あらゆる意思決定の場での男女共同参画 4 仕事と生活の調和の保持 5 互いの性への理解と生涯の健康維持 6 個人の尊厳の尊重と男女平等意識を育む教育・保育 7 国際的協調

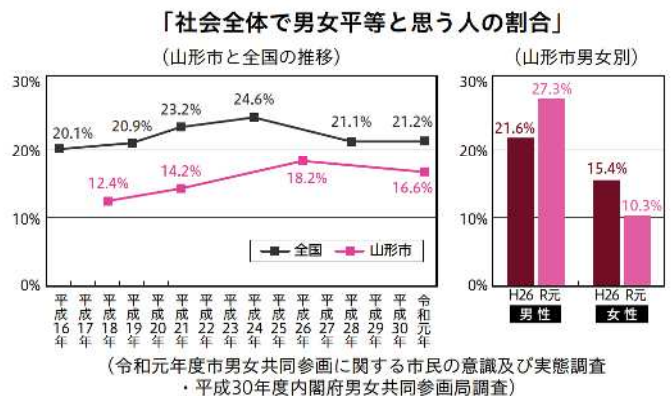
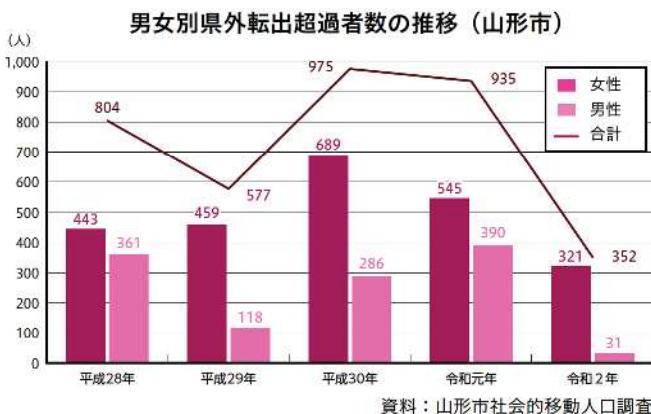
男女共同参画社会を実現するためには、性差に関する偏見・固定観念や無意識の思い込みなどの意識を変えていく必要があるため、男女の意識改革を目指す啓発や、教育、学習の充実を図ります。また、若年女性が大規模な転出超過となっているため、女性の地元定着を促進します。

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

施策の展開



この計画に基づき、市民・事業者の皆さんと手を携えながら、性別にかかわらず、だれもが個性と能力を発揮できる「男女共同参画のまち山形」を目指します。



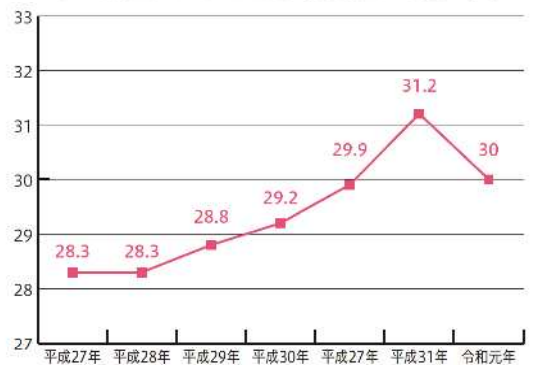


基本目標
Ⅱ
あらゆる分野での
男女共同参画の実現

男女を問わず多様な人材の能力を活用することは、豊かで活力ある持続可能な社会を生み出すための市の審議会等委員への女性の登用を促進し、家庭や地域、働く場などあらゆる分野で男女共同参画を推進します。また、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を進めるとともに、女性活躍を推進するために、新たに公民連携による女性人材育成事業を実施します。

基本目標
Ⅲ
安全・安心な
暮らしの実現

市の審議会等における女性委員割合の推移（％）



（男女共同参画センター調べ）

DVは、重大な人権侵害にもかかわらず被害が潜在化しやすいため、相談窓口の周知、啓発に取り組みます。さらに若年層への情報提供や意識啓発を進めるとともに、DVの相談体制の整備と被害者支援の充実に努めます。また、生涯を通じて健康の保持のために、男女それぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するとともに、高齢者や障がい者など様々な困難を抱える人々への支援及び性の多様性に関する理解促進と実態把握など誰もが安全・安心に暮らせるための環境づくりに努めます。



計画の推進

計画の推進体制

庁内の横断的組織「山形市男女共同参画推進本部」を中心に、計画の実施に関わる関係各課の情報共有と調整を行うとともに、学識経験者及び公募市民等で構成される「山形市男女共同参画審議会」から、施策の実施状況などに対する意見を聴取し、計画を総合的に効果的に推進します。

更に、あらゆる媒体を通して市民・事業所・団体等に対する計画

の周知に努め、「男女共同参画のまち山形」の実現に向けた意識の向上とそれぞれの主体的な取り組みの促進を図ります。

計画の進行管理

プランの進行管理にあたっては、計画を実効性のあるものとするために、目標ごとに達成に向けた19の指標を設定し、施策を計画的に実施するとともに、毎年度、取り組みの実績とその成果を明らかにする報告書を作成し、公表します。また、山形市男女共同参画審議会に事業の進捗状況を報告し、学識経験者や市民の意見・助言を施策に反映させるよう努めます。



計画の体系

目的	基本理念	基本目標	基本方針	施策の方向
【男女共同参画のまち山形】の実現	I 人権の尊重	I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり 	1 広報・啓発による男女双方の意識改革、理解の促進	(1) 男女共同参画への理解を広げる啓発活動の充実 (2) 性別による固定的役割分担意識と社会慣行の見直し
	II 多様な生き方の選択の自由		2 男女共同参画意識を育む教育・学習の充実	(1) 社会における男女共同参画意識の啓発 (2) 子どもたちの男女共同参画意識を育む教育の推進
	III あらゆる意思決定の場での男女共同参画		3 女性の地元定着の促進	(1) 大学等との連携による若者の地元定着促進 (2) 女性の地元定着に向けた意識啓発
	IV 仕事と生活の調和の保持	山形市職業生活における女性活躍推進計画 II あらゆる分野での男女共同参画の実現 	4 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	(1) 審議会等委員への女性の参画推進 (2) 方針決定過程への男女共同参画の推進 (3) 女性活躍推進のための人材育成
	V 互いの性への理解と生涯の健康維持	山形市DV防止基本計画 III 安全・安心な暮らしの実現 	5 家庭・地域における男女共同参画の推進	(1) 家庭における男女共同参画意識の啓発 (2) 地域活動における男女共同参画の推進 (3) 地域防災活動における男女共同参画の推進
	VI 個人の尊厳の尊重と男女平等意識を育む教育・保育		6 働く場における男女共同参画推進とワーク・ライフ・バランス	(1) 雇用・就労における男女の均等な機会と待遇の確保 (2) 女性の能力発揮促進のための支援 (3) ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発の推進 (4) 多様な働き方に対応した環境の整備促進
	VII 国際的協調	7 重大な人権侵害であるあらゆる暴力の根絶	7 重大な人権侵害であるあらゆる暴力の根絶	(1) 暴力の根絶に向けた意識づくりの促進 (2) DV相談体制の整備と被害者支援の充実 (3) 若年層に対する啓発活動の実施
	8 生涯を通じた心身の健康支援		(1) ライフステージに応じた女性の健康支援 (2) 心と身体の相談等の充実	
		9 生活上様々な困難を抱える人への対応と多様性を尊重する環境の整備	(1) 高齢者・障がい者・ひとり親・外国人など様々な困難を抱える人々への支援 (2) 性の多様性に関する理解促進と実態把握	

編集協力員の感想

基本目標のI、IIについて、どちらも、諸手を挙げて賛成したい内容です。男女双方の意識改革・理解の促進は、絶対必要な基本の基本だと思います。ただ、若い人、子供達と限定せずに、老若男女、勉強したいと思う全ての人に、その機会を与えて欲しいと思います。また、若い女性の地元定着の促進も必要でしょうが、他県から呼び寄せることも必要なのではないでしょうか。

この男女共同参画プランが計画通りに実行されれば、山形市は住みやすい街となり、若い世代が市外に流出しないばかりか、市外から流入することも期待されます。人の意識を変えるのは簡単ではありませんが、市が先頭に立って本気度を見せていただきたいと思います。例えば、市の政策や方針の決定の過程で女性の視点が反映されるように、審議会等における女性委員の割合を増やすことは、市が旗を振れば実現できるのではないのでしょうか。プランの計画期間を終えたらプランの達成度を検証すると思いますが、書きっぱなしにしないために、達成できなかった項目についてはその理由や改革案を示していただきたい。

山形市だけでなく全国的に「社会全体で男女平等と思う人の割合」が伸び悩んでいます。男女共同参画への理解が深まり、問題意識が増したからこそだと思います。今回、基本方針3として女性の地元定着の促進がかかげられ、この指標をどのように目標値へ近づけることができるか期待しています。若者の地元定着だけでなく、県外で経験値を上げた子育て世代も定着できる山形市であってほしいです。また、男性の育児休業取得率が徐々に上がってきている中で、まずは有給休暇をとって育児の時間を作り出している男性も多く、数値に表れない頑張りも認められる新プランであることを切に願います。

プランの詳細については、**山形市ホームページ**をご覧ください。

山形市男女共同参画プラン  検索



まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形 スタート!

山形市では、令和4年度から(株)資生堂、(株)Ridiloverと
公民連携による女性人材育成事業を実施しています。

まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形 とは？

近年、山形市から県外への転出超過が続いており、特に若年女性の人口流出が顕著となるなど、若年女性の地元定着が地域課題となっています。そこで、山形市で生活する女性が抱える悩みや課題を、自ら解決することを目指す探求型プログラムを実施することにより、地域で活躍する女性リーダーを養成し、“女性が輝くまち山形”の実現及び若年女性の地元定着を図るための女性人材育成事業に取り組むことにしたものです。

このプロジェクトは、資生堂ジャパン(株)から寄附をいただいた企業版ふるさと納税と、資生堂がもつ女性活躍支援のノウハウ、および山形市と包括連携協定を締結している(株)Ridilover(リディラバ)が持つ人材育成のノウハウを活かし、公民連携で行っています。

12月6日(火)に取り組み発表(一般公開)を行う予定です!

詳しくは、広報やまがたでお知らせいたします。

事業開始に先立ち、周知・参加者募集を目的とした

「女性活躍推進トップセミナー」と「トークイベント & 事前説明会」を実施しました。

5月23日(月)14:00~16:00

女性活躍推進トップセミナー



第1部 山形市内の働く女性を取り巻く現状や課題と、行政の取り組み
山形市 井上 貴至 副市長

第2部 「女性活躍推進企業」に学ぶ、女性が輝く組織づくり
株資生堂人財本部副チーフピープルオフィサー 芦田恵美子 氏
モデレーター：井上 朝雄 氏 (株Ridilover)

第1部 山形市内の働く女性を取り巻く現状や課題と、行政の取り組みについて伺いました。日本において、女性就業者は44%ですが女性管理的職業従事者は13%とその少なさは世界的にも異例とのこと。山形市内の事業所の女性管理職の割合も、令和元年度で12.6%と非常に少ないという現状を知りました。

今、山形市ではイクボス管理職を養成し、男性職員の育児休暇取得を進めるなど父親の子育て参加を促しています。女性の登用を進めていくには、男性の理解や後押しも必須です。

第2部 資生堂の芦田さんと、Ridiloverの井上さんの対話形式でのセミナーでした。山形出身の芦田さんから日本でもナンバーワンの女性活躍企業での様子や逸話を伺いました。企業で女性が活躍するにはトップのコミットメントで企業自体が変わることも重要ですが、自分らしいリーダーシップを発揮し自信を持つことも大事だそうです。

芦田さんは、「何も仕掛けなかったら、何も始まらない。“TRY and ERROR and TRY”チャレンジは重要で、何もやらないと学びは無い」とおっしゃっていました。

6月3日(金)13:00~15:30

トークイベント&事前説明会



パネルディスカッション

「企業・NPOで活躍する女性と考える、これからの生き方」

パネリスト：(株)資生堂 代表取締役常務 鈴木ゆかり 氏
Community Nurse Company (株)代表取締役 矢田 明子 氏

モデレーター：井上 朝雄 氏 (株Ridilover)

Ridiloverの井上さんの進行で、鈴木さんからは入社以来役員になるまでの経緯を、矢田さんからは高校卒業後から起業に至る経緯を伺いました。

矢田さんは、一歩を踏み出すときに大切なことは、「踏み出すということを決めること」だとおっしゃっていたことが印象的でした。踏み出しても、戻れるし、止めることも出来る、だから、まずは踏み出してみることが大切だとのこと。

山形には山形の人々の数だけ、挑戦のやり方があります。挑戦する時に協力してくれる人がいたら、甘えることも大切です。批判を言ってくる人に対しても「気に掛けてくれてありがとう」と、感謝を述べていると、いつしか理解してくれるようになってくるそうです。

鈴木さんは、企業の横割り、縦割りに関わらず、協力するというマインドセット(一緒にやるということ)が大切だとのこと。また、必要以上にネガティブにならないように、体の健康+心の健康(メンタルヘルス)が、自分自身のマネジメントにおいても大切だとのこと。

話を聞くということ、感謝を忘れないことも大切なことだとおっしゃっていました。

令和3年度 ファーラ開催講座 報告

自主企画講座

市民向けLGBT講座 2月17日(木)

‘ふつう’ってなんだろう?

～性的志向・性自認(SOGI)の多様性をめぐって～

講師：山形大学人文社会科学部
准教授 池田 弘乃さん

「LGBT」という言葉を耳にすることが多くなりました。アルファベットの頭文字を取り、性的少数者の総称として用いられることがあります。また、「SOGI (性的志向・性自認)」はすべての人に関わる人権の問題でもあります。講座ではそれぞれについて正しく理解するため、知識を深めるお話をしていただきました。自由に生きてくても自由に生きられない=不自由である。誰もが「ふつう」に生きられる社会を考えました。

DV防止講座③ 3月3日(木)

夫婦間のコミュニケーション
と子どもへの影響

講師：公認心理師
小関 悦子さん

子どもは親の背中を見て育つとよく言われますが、夫婦間の関係性もまた子どものコミュニケーション力の成長に大きな影響を及ぼします。そもそも他人である夫婦がわかりあうことは難しいものです。夫婦間のズレを埋めていくためには、「私」を主語にして話す、「依頼」の形で話すなどの工夫や、相手への共感、感謝、信頼、勇気づけなど、自分が言ってほしい言葉は相手も求めているということを教えていただきました。



女性学講座① 3月6日(日)

メディアが映し出す

ジェンダー・バイアス

～情報を読み解く力をつけよう～

講師：山形県男女共同参画センターチェリア
館長 伊藤 真知子さん



ジェンダー格差が反映されているメディア。メディアをジェンダーの視点で見ると、固定的な決めつけや紋切型が用いられることが多いそうです。そこで、視聴者や購読者はメディアを批判的に読み解く力を身につけることが求められます。性別によるステレオタイプな描き方になっていないか、二重基準が適用されていないか、差別的な取り扱いになっていないか、メディアの表現に安易に迎合せず、自分の頭で考えたり、誰かと話し合ったりすることが大切ということでした。

働く女性の講座①②

はじめての方も安心!基本のZoom講座

第1回 参加者編 3月10日(木)

第2回 主催者編 3月17日(木)

講師：AISOHO株式会社
代表取締役 海谷 美樹さん



第1回目の参加者編では、Zoomアプリのインストールからミーティングに参加する方法、第2回目の主催者編ではホストになり、参加者の招待、入室の承認、管理など、ミーティングをスムーズに進め、終了する方法などを学びました。回線を繋ぎ全員でオンラインミーティングを行い、参加者の顔が画面に映し出され会話ができた時は、皆さん大変楽しそうでした。

イクメン・カジメン・イクジイ講座③

3月13日(日)

新米夫婦のためのマネーセミナー

～2人のライフプランを立ててみよう～

講師：ライフプランナー(ソニー生命保険株)
安孫子 ゆみえさん



おカネをどのように貯め、使うか。まずは自分の人生を表に記入し、ライフプランを作成します。いつ、どれだけの収入、支出があるかを把握すること、赤字になるなら改善策を検討します。このライフプランは20代、30代から作成しておくとうまいそうです。人生には「3つの財布」が必要とのこと、「今の財布」「将来の財布」「万一の財布」この3つの財布をメンテナンスしながら管理していきます。「人生はメンテナンスが効く」ということでした。

女性活躍推進講座② 3月12日(土)

“ワーク・ライフ・バランス”私の場合

～どこに行ってもママに

なっても私らしく生きる～

講師：山形ママコミュニティ mama*jam
プレスリーダー 中嶋 愛さん



講師は、3人のお子さんを育てながら、SNSを運用してのご主人の会社の広報や山形ママコミュニティmama*jamの広報をやっておられます。

専業主婦の頃は、バリバリ働くご主人に「羨ましい!!! ずるい!!」と思い、自分が全部我慢しなければならないかと葛藤したこともあったそうです。どのように動き始めたのか、動いたことでその後の活動にどう繋がって来たのかを、実体験を通してお話し頂きました。明るく、前向きになれる有意義な講座でした。

女性学講座②・女性人材バンク登録者研修会 3月18日(金)

世界で起きている問題を知ろう

～映画を通じてジェンダー問題を考える～

講師：浦野法律事務所 弁護士 浦野 修平さん

まず初めに、“Bread winner” (ブレッドウィナー) というアフガニスタンの女性を描いたアニメ映画を鑑賞しました。アフガニスタンでは、女性はヴェールを身にまとい、女性だけの外出は出来ません。主人公の女の子は、家族を守るためにひとりでお出しなければならず、長い髪を切り、男の子の服を着て、男の子に扮して外出し、仕事や買い物をします。

女性隔離、ヴェールなどは、女性差別と思われるがちな制度です。一方でイスラム教においては、自分の美しさは、大事な人にこそ見せるものであり、不特定多数の男を楽ませるものではないとされており、コーランでは「女性の美しい部分を隠せ」とされており、それは、女性にとっても『女性は美しいもの』『大切にされるべき存在』という自己肯定感につながるものであり、自分を大切にするという思想があるとのこと。今は、実業家などとして活躍している女性もいるとのことでした。



令和3年度 ファーラ市民企画講座報告

※昨年度開催した市民企画講座で取材を行ったものを掲載しております。

市民企画講座② 令和4年1月15日(土)

探究心を育む子育て講座～問いかげが子どもの好奇心に火をつける!～

実施団体：15YELL (いちごえ～)

講師：15YELL (いちごえ～) 代表 村山 未佳さん

家族間でも気持ちが伝わらない時があります。その原因を見つけるため「STR 診断」を活用しコミュニケーション方法を学びました。この診断はタイプ別に素質や人への適応値がわかるので、相手を理解する事によってイライラやモヤモヤ解決の助けになるという事です。子どもに対しては、「何で。どうして。」という言葉投げかけるよりも「どうしたらいいかな。」と考えさせ、失敗しても認めてあげる事。周りの大人も楽しんだり学んだりする姿を見せ、探究心・好奇心を育める環境を作ってあげる事が大事なのだそうです。



令和4年度 ファーラ開催講座紹介

働く女性の講座① 6月2日(木)

働く女性のための美文字講座 ～手書き文字をレベルアップ!～

講師：書道家 伊藤 恵さん

美しい文字を書くためには、正しい姿勢が出発点。ペンの持ち方や角度など基本の姿勢をマスターし、縦線・横線を真っ直ぐ引く、螺旋を滑らかに書くトレーニングからスタートしました。美文字のバランス3つの法則は、「中心が通っている・余白の大きさを揃える・配置」の3つであることや、止め・はねを丁寧にする事、うちこみと言って書き始めに力をいれること、などを教えていただきました。漢字 100%、ひらがな 70%、カタカナ 80%の大きさにするという文字の黄金比率によって、文章も美しく書けるということでした。とてもわかりやすく教えていただき、常日ごろからほんのちょっと意識すると美文字に近づいていけそうです。



イクメン・カジメン・イクジイ講座① 5月29日(日)

感謝を込めて香りのプレゼント ～手作りのフラワーポット～

講師：フラワーデザインインストラクター
阿部 由希さん

フラワーポット作りに父と子、祖父と孫の6組が参加しました。いい香りのする石鹸でできたバラや植物の茎にワイヤーを巻き、軸を強くします。花器に飾り物を張り付けたら、中にスポンジを入れ、花と植物、竹串に感謝の言葉を書いたメッセージカードをつけて挿します。父と子で相談しながらの作業は2人の関係をより近いものにし、会場にはいない母への思いを強くしたはずです。

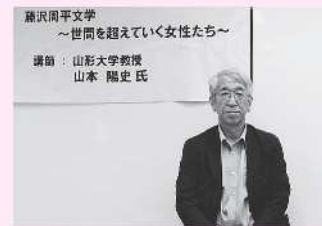


男女共同参画宣言都市記念講座 6月23日(木)

藤沢周平文学～世間を超えていく女性たち～

講師：山形大学学術研究院 教授 山本 陽史さん

鶴岡市出身の時代小説家、藤沢周平の作品を通して、世間と対峙する女性の姿についてお話しいただきました。江戸時代の女性は世間の決まりごとにしぼられ、不自由な生き方を強いられていた、と考えられがちですが、藤沢作品に登場する女性は世間を超えてでも、つまり家や地域とのつながりを切っても、自らが決めたことを実行しようとし、時には男性を道連れにしたそうです。逆に男性は世間に汲々とし、家のため、藩のために行動を制約される姿が描かれており、そういう視点で藤沢作品を読むと面白さが増し、そこが藤沢作品の魅力になっているということです。





11月12日から11月25日は、

「女性に対する 暴力をなくす運動」 週間です



フェアラでの展示の様子



「パープルリボン」は女性に対する暴力の根絶のシンボルです。期間中は、パープルリボンを身に付けて女性に対する暴力を許さない気持ちを表しましょう。



市役所での展示の様子

令和3年度「女性に対する暴力をなくす運動」週間 展示

内閣府では、女性に対する暴力の問題に関する取り組みを一層強化するため、毎年11月12日から25日までの2週間を、「女性に対する暴力をなくす運動」期間としています。

山形市では、DV防止について理解を深めていただくため、市役所庁舎1階エントランスホール、および、男女共同参画センター「フェアラ」におきまして、パネル展示を行う予定です。

▶ドメスティック・バイオレンス(DV)とは？

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、配偶者、元配偶者、事実婚等の親密な関係のパートナーから受ける暴力のことを言います。

編集後記

かつてメディアに関わっていた者として、伊藤真知子チェリア館長の「メディアが映し出すジェンダーバイアス」のお話を興味深く聴いた。中でも、メディアの制作現場では女性の数が少なく、男ばかりの集団ではジェンダー格差が当たり前になってしまう、という指摘には深くうなずいた。多くの悲しみや口惜しさ、批判によって、メディアも少しずつ改善されてきたと見ているが、まだまだ道は遠い。メディアの影響力は大きいので、制作現場へ多くの女性が参入し、男とは違った視点から情報を発信することが大切だ。採用の責任者であるメディアの経営陣の意識改革を期待する。
(熊谷 功二)

編集協力員 板垣 玲子 熊谷 功二 山下 みどり

- 男女共同参画情報紙「フェアラ」は、以下の場所で配布しています。
男女共同参画センター「フェアラ」、市役所(1階刊行物コーナー・市民課待合フロア)、霞城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティセンター、市立図書館
- 男女共同参画情報紙「フェアラ」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPで「フェアラ」で検索してください。)
- 読んだご感想・ご意見などがありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。